

夏目漱石の小品文学：孤独性をめぐって

講師：マービン マーカス

(ワシントン大学セントルイス校准教授, KCJS招聘教授)

京都大学国際交流センターでは、ワシントン大学セントルイス校のマービン・マーカス先生をお迎えして、第11回多文化交流フォーラムを開催致します。

夏目漱石の小品集（『永日小品』『思い出す事など』『硝子戸の中』）を題材として、よく知られている小説ではなく、これらの随筆風の小品において漱石が何を語ったのか、漱石の人間としての素顔がどのように描かれているのか等を鑑賞し、分析していきます。また、マーカス先生がどのように日本文学に出会い、現在の専門に至られたかも交えてお話しくさいます。

皆様のご来聴をお待ちしています。

日時：2008年4月23日（水）18:00-20:00

場所：京都大学国際交流センター 国際交流セミナーハウス (j-Pod)

講演は日本語で、質疑応答は日本語・英語両方で行います。

申し込み不要、参加費無料、先着40名。

◆講師紹介◆



マービン マーカス (Marvin Marcus, Ph.D.)

1986年 ミシガン大学文学部博士課程修了, Ph.D.取得 (日本文学専攻)。
1983年に東京大学大学院文学研究科比較文学講座へ留学し, 研究に従事。
現在, ワシントン大学セントルイス校文学部准教授。

京都アメリカ大学コンソーシアム招聘教授として来日中。

主著: *Reflections in a Glass Door: The Personal Writings of Natsume Sōseki* (近刊予定), *Paragons of the Ordinary: The Biographical Literature of Mori Ogai* (1993)。他論文、翻訳多数。

お問い合わせ：京都大学国際交流センター 河合淳子
Tel: 075-753-2569
E-mail: kawai@intl.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

